

壁のめ
藍染

「桜川の四季(タペストリー)」を
真壁伝承館へ寄贈

10月10日、市の地域資源を活用した特産品開発グループ「The さくらがわ(鈴木正徳会長)」から、日本の伝統文化を受け継ぐ真壁の藍染めタペストリーが真壁伝承館へ寄贈されました。

タペストリーは、町村合併前の岩瀬・真壁・大和地区の四季をイメージし、イチヨウの葉が舞う「富谷観音」、真壁の「雪化粧の五所駒瀧神社」、アジサイの咲く「初夏の雨引観音」を表現した上で、桜川のサクラが全体を覆うように白と藍色のコントラストで染め上げられています。

現在、天然藍を使った藍染めは希少であり、その伝統文化と技術を守るためのオリジナル商品として同グループが企画し、デザインを切り絵作家 竹蓋年男さんに、藍染めを真壁藍保存会(多田郷会長)に依頼し



「桜川の四季」を大塚市長(写真右から3番目)に贈られた「The さくらがわ」関係者の皆さん

完成しました。

「The さくらがわ」は東日本大震災後の2011年に市内の企業グループ29社が、地域資源を活かした特産品を共同開発する目的で結成され、地域のPRと活性化をめざして活動しています。

同グループでは、タペストリーを商品化し、市内のイベントや「真壁のひなまつり」などで観光客のお土産としてPRして販売するそうです。

■問合先/桜川市商工会(☎0296-7611800)

おっきくなあれ!



大島結人ちゃん
平成25年7月19日生

(真壁町東山田地区)

お母さんからひんひん

アソビがとっても上手になって、毎日あいかけてご目が見えないです。

大好きなつんちゃんごっこお散歩に行きたいね♡

元気いっぱい育ってね!

中島百葉ちゃん
平成24年10月11日生

(岩瀬地区)

ババママからひんひん

ももご歳おめでとう!!

これからも健康で元気いっぱいに育ってね!

※このコーナーに掲載をご希望の方は、秘書広報課(☎58-5111・75-3111/内線1268)までお申し込みください。

広報 さくらがわ No.219 11月1日発行

発行: 桜川市/月2回(1日/15日)
編集: 市長公室秘書広報課
TEL: 0296-58-5111・75-3111(代表)
FAX: 0296-58-5115
〒309-1293 茨城県桜川市羽田1023番地
ホームページ <http://www.city.sakuragawa.lg.jp>
Eメール info@city.sakuragawa.lg.jp



【表紙】

10月6日、真壁石材協同組合が伝統的工芸品「真壁石燈籠」に対する理解や愛着を深める機会を提供しようと、「ミニ燈籠・石仏制作体験」を開催しました。「真壁石燈籠」は、江戸時代末期に技法が定着し、厳しい子弟相伝を経て、現在の石工たちに受け継がれてきたものです。

当日は30人が参加し、ミニ燈籠や石仏の制作を体験。同組合の伝統工芸士たち(写真左は、根本 忠さん)が伝統的な技術・技法を指導しました。



この広報紙は、環境保護のために古紙配合率100%の再生紙と植物性大豆油インキを使用しています